

恩師、安積桑野七十五期、主な同窓生へ発行部数二五〇部、老後の生き方を真剣に問いかける豆新聞。

七十五期 葉書の豆新聞

▼有志の企画で七五期喜寿の同期会を開催した。青木義孝恩師、三浦賢一恩師と六十人出席。内訳六八人死去、最新名簿で二二一人に案内。▼同期から届く情報は死亡記事ばかりでおもしろくない。なな。その中で堪えるのは香典なので同期会への近況返事の中かどら、励みになる良い返事を拾いアップする！小沼利正日本百名山完登。森屋邦夫合唱チェロフルー卜人形劇裏方、技術翻訳小学校寺

子屋先生、深谷秀三卓球三昧、日てくればよい。▼奥様逝去の鈴木本卓球強化合宿選手引率、遠藤卓光会社を譲渡、伊豆高原に移住五十坪の野菜作り。横山豊男声合唱年間8ステージこなす。杉田勝地元の老人会長。谷代正毅北岳に登山。菅井勉オジサンバンドギター担当。鈴木利光病理医として週三日勤務▼年と共に財布が寂しくなる。その中で堪えるのは香典なので同期会への近況返事の中かどら、励みになる良い返事を拾いアップする！その時は？すまして通夜の席に手ぶらで行き帰ってくれば良い。気がひけるなら線香でも置い

新聞代の残金で弔旗を作った。同期の仲間が旅立った時はこの弔旗を送付する。葬儀の席に献花に並べ揚げて下さい。弔旗原正夫宅に有ります。万が一の時乞う連絡

